

～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

第1学年 大学見学会 ～『完全班別行動』現地集合・現地解散～

10/17(木)に都内に足を運び大学見学会を実施しました。例年は本校からバスで出発しクラスごとに見学する形態でしたが、**非認知能力**をより伸ばせる方法を模索した結果、今年度は現地集合・現地解散で終日班別行動としました。見学する大学・行程・時程を自分たちで一から調べ、より主体的に大学を学ぶ機会になったと感じます。チェックポイントとする大学を一部設け出席確認を行いました。各班工夫を凝らし充実した一日を過ごすことができました。実施前は生徒たちに完全に任せることに多少の不安を感じていましたが、**失敗することもよい機会**であると捉え教員はサポートに徹しようという心構えで臨みました。結果、その心配は杞憂に終わりこの形態で実施してみてもよかったなと感じています。生徒たちの生き生きとした表情や伸ばせたと感じる非認知能力をご覧ください。(1学年主任 高田 慧)

1. 当日の様子 (見学した大学)



↑早稲田大学<早稲田キャンパス>↓



明治大学<駿河台キャンパス>



↑慶應大学<三田キャンパス>↓



青山学院大学<青山キャンパス>



東京都立大学 (南大沢キャンパス)



東京海洋大学 (品川キャンパス)



上智大学<四谷キャンパス>

2. 生徒のアンケート結果

大学見学後に生徒にアンケートを取り、大部分の生徒が今回の大学見学会の方法に満足感を示していました。また、アンケートの中で、『今回の大学見学で得た非認知能力はなんですか』という質問を生徒に投げかけたところ、様々な非認知能力を手に入れる結果となりました。下の図がもっとも多かったキーワードです!!!

コミュニケーション能力
観察力 観察力 自主性 行動力 平常心 共同力
調べる力 協調性
計画立案力 考える力
忍耐力 責任感

4. 生徒たちの感想

私の班は慶應義塾大学と明治大学にいきました。どちらも大きくて綺麗で、大学内の設備を見て、将来このような充実した場所で勉強したいという大学への興味がより増したと思いました。また、見学後に班ごとに見学内容をまとめ発表することでも大学の様々な知識を得ることができたので良かったです。(1年1組 山田 陽)

今年度から初の「完全班別行動」となり、少し不安でしたが、前南生としての自覚を持って無事に大学見学を終えることができました。事前に大学の詳細や電車の時刻などをしっかりと調べ、当日に計画通りにいかないところをうまく修正し、非認知能力が成長したと感じます。来年も生徒が自主的に行動し、充実した大学見学会にしてほしいです。(1年2組 榛澤 啓吾)

大学見学では終始予定を生徒たちが主体的に決めて、自分たちが一番学びを得られる状態を自分たちで考え作っていく力がとても活かされた気がしました。SAHを意識したこの大学見学会。自分たちで終始活動予定を決めて、自分たちが主体となって動く。そのためにはコミュニケーション能力や協調性、積極性がとても重視されるものになってくると改めて身に染みて実感することができました。(1年3組 寺島 和志)

3. 大学見学会で学んだことの発表の様子

大学見学後、体験的に学んだことの情報写真や動画を使いながら報告発表会を行いました。大学の情報だけでなく、昼食風景や大学周辺の様子も交えて発表し、改めてこのスタイルの大学見学会を実施して得たものが多かったと実感できました。(1学年担任 原澤 正樹)



今年の大学見学は計画からすべて生徒が主体となって進めたので、時間の管理や安全面など自分の行動に伴う責任について考えることができた。当日は実際に大学の雰囲気を感じることができ、将来について考えるきっかけとなった！また班の子と計画した目的地を周ることで達成感を得られ、とても充実した1日となった。(1年4組 新井 稀唯)

この活動で感じたことは、ホームページだけではリアルな雰囲気やどんな学生がいるのかわからないということです。時間を取ってオープンキャンパスに行くことはめったにないため良い経験になりました。そして、自分の志望校決めではネットの情報だけで判断せず目で見決めてみたいと思いました。(1年5組 新井 美結)

★教頭より★ 『完全班別行動』というコトバが生徒の感想文にあります。『生徒主体』というコトバと『責任』というコトバの両方が思い浮かびました。『生徒に任せること』で生徒が『責任』を痛感し成長するということが期待できます。『かわいい子には旅をさせよ』ということわざのように『自分のチカラでさまざまな経験をさせることによって成長させることができる』ということにほかなりません。私も学生時代にひとりで海外に行ったときに大失敗をいくつもしましたが良い経験となりました。大人が敷いたレールを進むより、自分で苦労しながら切り開いた道を進む方がスリルもありますし、さまざまな発見があるはず！来年は修学旅行ですね！今年の2年生もがんばりましたが、来年の修学旅行をどうするのか、まわりの人と話し始めてはいかが？教頭 星野 亨

★校長より★ 今までいくつかの学校で大学見学を経験してきましたが、「連れて行ってもらう大学見学はなかなか『自分ごと』にならない」ということを課題として感じていました。今回、現地集合・現地解散の完全班別行動の大学見学を実施したいという提案を受けたとき、これは是非やって欲しいと思いました。もちろん、心配もありました。しかし、皆さんの感想を読むと、今回の大学見学における事前準備の真剣さ、現地で雰囲気や情報を得ようとする本気度を見ることができ、その効果を感じることができました。1年生の皆さんは今回の大学見学で、自分の進路に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。引き続き、進路実現に向けて、「自分の歩み」を進めていって欲しいと思います。校長 原 拓史